

学校教育目標

自ら学び、心豊かでたくましい児童の育成

- (確かな学力) 学びを楽しみ、進んで学習する子
- (豊かな心) 礼儀正しく、思いやりのある子
- (健やかな体) 体をきたえ、健康でたくましい子

1 経営の基本的な方針

(1) 法令等に則った公教育を推進する。

- * 公立学校は、学校教育法、学習指導要領等及び県や市の規則・指針等に従って教育することが求められている。
- * 法令の範囲内で、前例にとらわれることなく創造的な実践に挑戦する学校でありたい。アイデアと実践の積み上げが、特色ある学校づくりへとつながる。

(2) 子どもによりサービスを提供する。

- * よいサービスとは、子どもの思いを理解し、楽しくわかりやすい授業を行うことである。
- * 教育は、子どもの人格の完成を期して行われるものである。発達途上にある子どもに対し、よいサービスを提供することを、教師の誇りとやりがいとしたい。

(3) 職員の連携を大切にす。

- * 学校が抱える課題は、高度化、複雑化していると言われている。課題に適切に向かうため、職員が連携して対応するとともに、管理職への相談、連絡、報告を密にする。
- * 経験年数、職務、校務分掌、年齢等による発想の違いを生かし、ボトムアップにより職場環境の改善を進める。

(4) よき社会人としての教師となる。

- * 学校は地域の中に存在し、職員は地域に生きる子どもの教育を担っている。私たちは、常に、地域の一員であることを自覚し行動する。
- * 教職を志し、願いかなって教師となった。教育のプロとして、子どもや保護者には誠意を尽くして接したい。
- * 挨拶をする、身なりを整える、時間を守ることなどは、社会人としてのマナーである。

めざす学校像



- 希望に満ち、楽しく生き生きと活動する学校
- 安全で、きれいに整備された学校
- 明るい挨拶が交わされ、心が通い合う学校
- 校庭に、子どもの遊びの音が響く学校
- 地域に開かれた、信頼される学校

求める教師像



- 明るく健康で、豊かな人間性を持つ教師
- 教育に情熱と誇りを持つ教師
- 職責を自覚し、絶えず創意と工夫に努める教師
- 組織の一員として、連携と協働を大切にする教師
- 相手の立場で考え、自らを律する教師

2 経営の重点

(1) (確かな学力)「学びを楽しみ、進んで学習する子」の育成

- ・ 国語科の研究を通して、思考力や判断力、表現力を育てる教育活動の充実に努める。
- ・ 始業前の「学びタイム」にドリル学習等の反復練習に取り組み、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。
- ・ 多人数学級については、加配教員や教諭補助員を配置し、きめ細かな指導を行う。
- ・ 強化週間を設け、家庭学習への取組について啓発する。
- ・ 「読書賞」を継続し、読書に親しむ意欲と態度を育てる。
- ・ 校内体制を整備し、特別支援教育を充実させる。



(2) (豊かな心)「礼儀正しく、思いやりのある子」の育成

- ・ 福祉教育推進校の指定最終年度にあたり、一層の充実に努めるとともに、これまでの取組をまとめる。
- ・ 基本的な生活態度（あいさつ・返事・靴のかかとそろえ）の徹底を図る。
- ・ 「どきどきタイム」を通して異学年交流を進める。



(3) (健やかな体)「体をきたえ、健康でたくましい子」の育成

- ・ 基本的な生活習慣を身につけ健やかな成長を期すため、家庭に対し「早寝、早起き、朝ごはん」を呼びかける。
- ・ 陸上練習、なわとび、マラソン等の体力向上の機会の確保する。
- ・ 避難訓練を計画的に実施し、不測の事態に備える。
- ・ 産地としての食育のあり方を探るとともに、食文化の継承を図り、自然の恵みや勤労の大切さなどに気づかせる。



(4) その他

- ・ 学校・学年だよりやホームページ等により教育活動の広報に努める。
- ・ 職員の執務環境を整え、効率のよい校務処理をめざす。
- ・ 長時間労働を防ぐため、職員の出勤時刻を記録し、職員の健康管理に留意する。